「かぼす」の測定

作業日時: **2004**年**9**月**28**日 (火曜日) 測定環境: **27**℃/**60**% (測定室内)

使用テスター: **zNose 4200** (使用カラム **DB-624**)

測定サンプル:「かぼす」の搾り汁

測定方法:

1.事前に**n-Alkanes C6-C14**溶液で測定を行い、保持指標を作成した。

2.セプタ付きバイアルに、「かぼす」の搾り汁を約**10cc** 注ぎ、セプタからサンプリング針でヘッドスペース ガスを吸引し、測定した。

3.グレープフルーツのエッセンシャル・オイルの試薬 小瓶の口もとにサンプリング針を近づけて、放散さ れるヘッドスペースガスを吸引し、測定した。 バイアルよりヘッド



Date: 2004/09/28

測定条件

SAWセンサー温度:**60**℃

サンプル吸引時間: **0.5**秒 (**0.25cc**に相当)

カラム待機温度:**40℃** バルブ温度:**120℃**

サンプル導入口温度:**200**℃ カラム温度:**40→140**℃/**10**℃/秒

測定時間:20秒

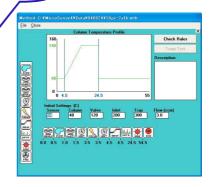
トラップ点火前後待ち時間:前2秒、後1秒

スペースガスを吸引

実際にかかったトータルの作業時間:30分

測定条件の設定画面

New Temp.	Voltages
Item Temperature Set Point Por	er Heater 28
Sensor 45 50 -38	% +13 Volts 13.3
Column 40 40 0	% +5 Volts 4.9
Valve 120 120 20	% +3.3 Volts 3.3
Inlet 200 28	% Pneumatics
Trap 300 300	Column Flow 3.0 ccm 3.0
Max. Column Temperature 160	Pressure 1,232 psi (103% Full)
Frequency	
IF Frequency 921,429	Hz Sensor Number 740.
Reference Freq. 500.564	MHz Turnover Temp 35.7 Deg. C
Calculated Sensor Freq. 499.643 M	Hz Turnover Frequency 499.694 MHz
Close	Sensor Loading 17 %



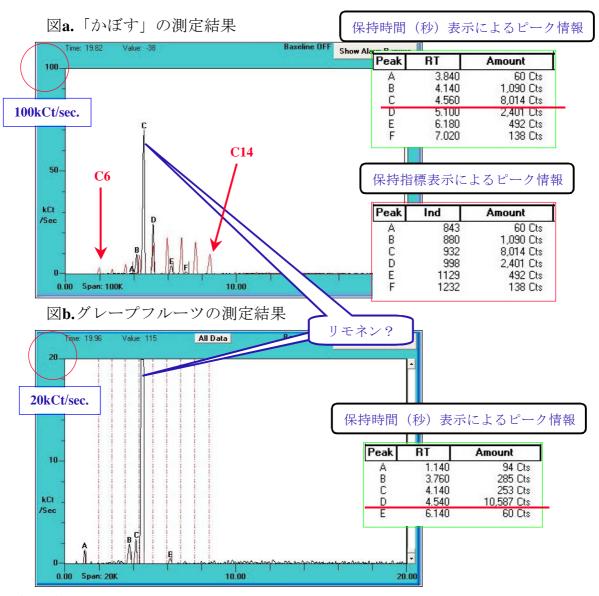


Electronic Sensor Technology www.estcal.com EST Tokyo Liaison Office www.beehive.co.jp/est

zNose Technology

「かぼす」の測定 Page2

- 1. 図aはn-アルカンC6-C14のデータとの重ね書きで、右のピーク情報は、緑枠が保持時間表示、その下の赤枠がn-アルカン・データを利用した保持指標表示。
- 2. 図bのグレープフルーツのデータと比較すると、両者が共通の成分で構成されていることがわかる。
- **3.** 最大の数値をしめした保持時間**4.56**秒(グレープフルーツでは**4.54**秒)は柑橘類の代表的な成分リモネンと思われる。
- **4.** 「かぼす」の中で占めるリモネンと思われる成分の割合は、グレープフルーツの それに較べて低いと思われる。なお、グレープフルーツのグラフは、リモネン 以外の成分が小さい為、**5**倍にスケール変更して表示した。





Electronic Sensor Technology www.estcal.com
EST Tokyo Liaison Office www.beehive.co.jp/est